

Title	我が国のM&Aにおいて買収側経営陣の動機が資金調達方法に与える影響
Sub Title	
Author	布津陽一郎(Futsu, Youichirou) 和田賢治
Publisher	慶應義塾大学大学院経営管理研究科
Publication year	2001
Jtitle	
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	修士学位論文. 2001年度経営学 第1713号 可能
Genre	Thesis or Dissertation
URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=KO40003001-00002001-1713

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the Keio Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

論文要旨

所属ゼミ	和田賢治 研究会	学籍番号	80028724	氏名	布津 陽一郎
(論文題名)					
我が国の M&A において買収側経営陣の動機が資金調達方法に与える影響					
(内容の要旨)					
<p>買収側経営陣の動機がどれだけ我が国の M&A において資金調達方法 (エクイティファイナンスか否か) に影響を与えているか、本論文独自の仮説を含め合計 6 つの仮説を提示した上で計量分析を行い、検証する。また、米国における検証結果との比較検討も併せて行う。</p> <p>本研究から判明したことは以下の通りである。買収側経営陣は、役員持株割合が高いときその支配力を弱めたくないがために、現金での資金調達を好む。これは米国と同様の結果である。また、買収側経営陣は自社に既存大株主が存在したとき、その監視力が増大しないようにするため現金での資金調達を好む。</p>					